

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	当院における妊娠中の中枢神経系薬剤使用状況と児の転帰		
1. 研究の目的と方法	妊娠中に使用されたお薬が、赤ちゃんの出生後の経過にどのような影響を与えるかを明らかにすることを目的としています。 妊娠中のお薬の使用については、不安を感じる方も多くいらっしゃいます。そのため、実際の診療データをもとに安全性を確認することが重要と考えています。この研究は、これまで当院で分娩された方の診療録に記載されている情報を用いて行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	この研究では、2020年1月1日から2025年12月31日までの期間に東京慈恵会医科大学附属病院で分娩された方のうち、妊娠中の中枢神経系薬剤の使用状況や妊娠・出産の経過が診療録に記録されている方を対象としています。 対象年齢は妊娠可能年齢となります。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、BMI、妊娠回数、妊娠合併症、喫煙歴・アルコール歴、精神疾患診断名、その他合併症、使用薬剤	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 薬剤部
		氏名	早川 朋子
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。          情報の利用開始予定日：2026年4月頃～</p>
<p><b>【問い合わせ先】</b></p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 薬剤部          研究責任者：早川 朋子（はやかわ ともこ）          電話番号：03-3433-1111（内線 5331）          対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。